

令和4年9月15日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和4年9月15日(木曜日)

午後3時30分から午後4時40分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委 員 鷲尾 達雄 委 員 大久保 真紀
委 員 荒木 正 委 員 廣川 佳予子

4 職務のため出席した者

教育部長	安達 敏幸	子ども未来部長	水島 幸枝
教育部副参事(科学博物館長事務取扱)	小熊 博史	教育総務課長	水島 正幸
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	青木 佐土子
学校教育課長	佐山 靖和	学校教育課主幹兼管理指導主事	小畑 活
学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉	学校教育課企画推進係長兼指導主事	大畑 勝義
中央図書館長	梅沢 一茂	子ども・子育て課長	深澤 寿幸
子ども家庭センター所長	大久保 千春	保育課長	恩田 立也

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長 内藤 貴幸

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 35 号	長岡市立学校通学区域規則の一部改正について
3	第 36 号	附属機関委員の委嘱について

7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 9 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び荒木委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 35 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 35 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(青木学務課長) 議案第 35 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について説明します。改正の理由についてです。経緯としまして親沢町町内会から令和 4 年 6 月 21 日付で、親沢町の中学校の通学区域を越路中学校から西中学校に変更してほしい旨の要望書が提出されました。現在、親沢町の児童は小学校が深沢小学校に、中学校は越路中学校に通学しております。なお、深沢小学校の通学区域は深沢町と親沢町の 2 つの町のみで構成され、中学校については、親沢町の子は越路中学校へ深沢町の子は西中学校へと分かれて進学することになっております。親沢町が昔は越路の地籍だったことなどが関係していると思われまます。市町村合併前の長岡市と

越路町の時代から距離が近い越路中学校へ通学してきた経緯がありますが、今回要望に至った理由は、近年の少子化に伴い親沢町から越路中学校へ入学する子どもが1～2名の極少数であること、児童も深沢小学校の同級生と分かれて極少数で大規模な越路中学校へ入学することに大きな不安を抱えていること、中学校への通学距離が2キロから7キロへと遠くなりますが深沢町の児童と一緒に西中学校へ入学したいと希望する親沢町の子ども及び保護者全員の意見が一致し、町内会としてもその意向を尊重し町内会全体の合意も得られたことから、中学校の通学区域変更の要望を提出されたものです。親沢町の児童生徒の状況ですが、深沢小学校の全校児童36名のうち親沢町の児童は3世帯6名で、1年生1人、3年生3人、5年生1人、6年生1人です。さらに、現在0歳児から6歳児までの未就学児は一人もいない状況です。また、親沢町から越路中学校に通学している生徒は3年生が2人のみで、1・2年生はいないため、来年度から中学校の通学区域が変わっても在校生には支障がない状況です。なお、西中学校へ通学する場合は距離が遠くなり通学の負担が増えると思われませんが、現在、深沢町の生徒には冬季に通学する際のバスの定期代を市から補助しておりますので、親沢町の生徒に対しても同様に補助したいと考えています。この件につきまして、「長岡市公立学校通学区域審議会」に諮問し、本年8月5日開催の同審議会で審議した結果、これを適当と認める答申があったことから所要の改正を行うものです。改正内容につきましては、資料に記載のとおり、親沢町の中学校の通学区域について越路中学校を削り、西中学校を加えるもので、改正規則については2ページに記載のとおりです。施行期日は、令和5年4月1日を予定しています。以上で説明を終わります。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

◇日程第3 議案第36号 附属機関委員の委嘱について

(金澤教育長) 日程第3 議案第36号 附属機関委員の委嘱について を議題と

いたします。事務局の説明をお願いします

(水島教育総務課長) 議案第 36 号 附属機関委員の委嘱についてを説明します。

長岡市予防接種健康被害調査委員について、長岡市予防衛生専門委員の改選があったため、母子保健分科会長の奥川敬祥（おくがわ たかよし）氏から、新たに、磯部賢論（いそべ まさつぐ）氏に委嘱するものです。委嘱開始日は、令和 4 年 10 月 1 日からとなります。説明は以上です。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました

(金澤教育長) 続きまして協議報告事項に移ります。初めに、令和 4 年度全国学力・学習状況調査結果分析と長岡市教育委員会の取組について の報告です。この内容につきましては、非公開が適当ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) では非公開にいたしますので、関係者以外は退席をお願いします。

—会議規則第 20 条第 2 項の規定により非公表—

(金澤教育長) 次に、附属機関等会議報告について 事務局の説明をお願いします。

(青木学務課長) 「長岡市公立学校通学区域審議会の報告」になります。この審議会は、「教育委員会の諮問に応じ、長岡市公立学校の通学区域の再編成及びこれに伴う学校の統廃合について調査審議し、意見を具申する」役割を担っている審議会です。今回の議案で説明しました「親沢町の中学校の通学区域の変更について」教育委員会から諮問し、8 月 5 日開催の審議会で審議の結果、適当と認める答申をいた

だいたいのものです。審議会の委員としましては、太田中学校を除く市内 26 の中学校区からの委員と、小中学校校長会からの委員、併せて 28 名で構成しており、当日の出席者は 22 名です。会議の主な内容ですが 1 つ目は先ほどの「通学区域の変更について」の審議です。2 つ目が「教育環境を考える保護者懇談会等について」現在の状況を報告させていただきました。通学区域の変更についての主なご意見については、遠距離通学となり、子ども・保護者の負担が増えるが、子ども、保護者、地域の願いが総合的に込められており要望を尊重することが良い。深沢小学校の児童が 2 つの中学校に分かれることなく同じ中学校に通学することが良い。地域の喫緊の課題として要望は尊重するが、将来越路中学校に通学したいという話が出た場合には柔軟な考え方があっても良い。などの意見が出ております。報告は以上です。

(佐山学校教育課長) 6月30日に、今年度1回目の新しい米百俵!長岡市「熱中!感動!夢づくり教育」の推進会議を行いました。資料には熱中感動部会という表記がありますが、今年度、推進会議の活性化を図ることを目的に会議の構成メンバーの見直しを行いました。熱中感動教育の個別授業の内容について御意見をいただき実効性の高い取組みとするためのグループを「熱中感動部会」、学校現場で創意工夫を凝らしながら学校運営、授業づくりに取り組んでいる教職員のグループを「子どもの学び部会」として二つの部会を設けました。本日は「熱中感動部会」についての報告です。大畑指導主事から説明をいたします。

(大畑学校教育課企画推進係長兼指導主事) 6月30日に「熱中感動部会」を行いました。今回は授業に関わりのある新たな委員を多く取り入れて、その授業が継続的に展開出来たり、社会教育に繋がったりするような発展的なものになるためにはどのような体制が良いか。子どもたちの「非認知能力の育成」という視点を授業内に盛り込めないか。という2点で話し合いをして様々な意見をいただきました。主な発言は、記載のとおりです。以上です。

(梅沢中央図書館長) 令和4年度の第1回長岡市図書館協議会報告です。7月26日に中央図書館で開催しました。出席者は委員8名で、委員長は長岡造形大学の渡邊誠介教授で、副委員長はお話しボランティア会長の淵本さんです。会議内容は、報告事項として、令和3年度の長岡市立図書館の活動評価について、令和4年度長岡市立図書館の運営方針について、ミライエ長岡の整備状況について、を報告いた

しました。協議事項としましては、令和4年度長岡市立図書館の活動評価（案）についてです。個人貸し出し冊数や予約件数の数字的な評価の項目と郷土資料の収集・保存・活用などや、本と人を繋ぐ様々な事業内容の評価項目について様々な意見をいただきました。主な意見・質問として、ミライエ長岡の整備状況について現在、互尊文庫にある本はどうなるのか、という質問には今ある5千冊を移管する予定で、オープン時には4万冊の蔵書で始まる予定だと回答しました。他は記載のとおりです。

（小熊教育部副参事） 令和4年度の第1回長岡市文化財保護審議会の報告です。8月19日に教育委員会会議室で開催しました。出席者は長岡市文化財保護審議会委員10名のうち8名です。内容としては、委員は前期に引き続き全員継続しましたが、新しい会期の委員長・副委員長を互選で選出し、委員長に長岡造形大学教授の平山委員、副委員長には寺泊町の三富委員を選出しました。会議の内容は「長岡市文化財保存活用地域計画」を策定していく準備の状況について報告しました。全国的に各自治体の地域に残る様々な文化財、自然や歴史文化に関わるものを中長期にわたり、どの様に保存活用していくかのアクションプランを作っていくもので、文化庁では3年程前から推進しているプランのひとつです。長岡市では、令和4年度に準備を行って本格的に、令和5年度以降に「長岡市文化財保存活用地域計画」を策定していく内容の説明を行っています。主な意見質問は、記載のとおりです。以上です。

（金澤教育長） 4件の報告について、御質疑、御意見はありませんか。

（鷲尾委員） 互尊文庫の5万7千冊ある本のうち、5千冊がミライエ長岡に移管して、残りの本は他の施設にいくのですか。

（梅沢中央図書館長） 他の図書館に行くものと、使わない本はリサイクルとして学校・保育園等の施設などに贈る方法も考えています。それ以外の本は廃棄となる場合もあります。

（鷲尾委員） ミライエ長岡で使用する5千冊はどのような視点で選ばれるのですか。

（梅沢中央図書館長） ミライエ長岡のテーマが、「はたらく・くらす・ひらめく」ということで、そのテーマに沿った本になります。

（鷲尾委員） ミライエ長岡のコンセプトである「はたらく・くらす・ひらめく」を

キーワードに、設計・企画している部署はどこですか。

(梅澤中央図書館長) ミライエ長岡準備室が設けられています。選書についてはそちらで、選書をする専門的な職員や業者に委託をお願いしていると聞いています。テーマに沿った本の購入準備を進めています。

(鷲尾委員) 専門的な方が関わって、ミライエ長岡への本、他の施設に贈る本、廃棄する本と選別するのですか。

(梅澤中央図書館長) 5千冊を選ぶのは委託している方にさせていただき、他の所は中央図書館で対応します。

(金澤教育長) 他にありませんか。

(廣川委員) 通学区域の会議報告ですが、将来的に距離が近い越路中学校に通学したい場合は柔軟な考えがあって良いという意見が出たとありますが、最終的に親沢町の子どもたちは西中学校に通学することが決定したわけです。他に選択制にするという方法もあったと思いますが、選択制ではなく西中学校に通学をすると決めた理由は何ですか。

(青木学務課長) 親沢町の町内会からの要望の中には、親沢町の子どもたちは40年程前から越路中学校に通学していたという経緯があり、親沢町が越路の地籍だったことが影響していると思いますが、教育的な配慮から人数が少ない1人、2人で越路中学校に通学するのは非常に不安だという声が、近年の少子化に伴って大きくなってきて、西中学校へと町内会の総意で決定しました。要望書の中には西中学校に変更していただいたら未来永劫、越路中学校には戻りません。という町内会からの一言が付け加えられていましたが、審議会の委員の方から、現在、未就学児は一人もいない状況なので、対象となる子どもや保護者の皆様は西中学校に通学することに皆さん同意していますが、今後、結婚されてお子さんができた場合などに町内会から未来永劫とありましたが、将来的に越路中学校に通学という人が出てきたら柔軟な対応をしていきたいなど、審議会の中には色々な意見がありました。今回、正式に通学区域の規則を変更して完全に西中学校に変えるのではなく、許可区域として隣の学校が近いなど希望に柔軟に対応することで良いのではという意見も多く出ましたが、最終的な判断をした根拠として先程説明したように、正式に通学区域を変更しないで本人や保護者の希望で西中学校に通学するという形になると、深

沢町の生徒に出しているバス通学定期の補助が出来ないため、そういう意味でも現在、在籍している児童、保護者の皆様が西中学校に通学したいと希望しているため、深沢町と同様に、通学定期の補助ができる方が通学の負担が軽減されるので、正式に変えたほうが適当なのではないかという結論になり、今回、正式に変更することになりました。

(廣川委員) 将来的に通学区域について何か生じた場合には、臨機応変に対応していくということですね。説明ありがとうございました。

(青木学務課長) 将来的に何かあれば柔軟に対応して欲しいという意見です。

(金澤教育長) 親沢町から越路中学校に通学する時に、冬季の補助はありますか。

(青木学務課長) 距離が2km程度ですので補助の対象にはなりません。

(金澤教育長) 正式に西中学校に決まると、補助も出るということですね。

(青木学務課長) 西中学校に通学となると7km以上あり、路線バス沿いに親沢町がありますので、西中学校に通学するバスの定期代を補助いたします。

(金澤教育長) 許可地域は補助が無いのですか。

(青木学務課長) 許可地域は本人や保護者の希望となるため、学区外通学の扱いになり本人負担となるため、本人の自力での通学、或いは保護者の送迎等で通学になります。

(金澤教育長) 許可地域とは基本どちらの学校に通学するか決まっているので、どちらに通学しても良いわけではないということですね。

(青木学務課長) 西中学校に通学するのが基本で、希望があれば越路中学校に通学するのが学区外通学になります。どちらに通学しても良いではなく、基本が決まっていて、他の学校に通学をしたいという希望があれば手続きをして通学するという形になります。

(金澤教育長) 他に、御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。これをもちまして、協議報告事項を終了いたします。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(梅澤中央図書館長) 「読み聞かせボランティア養成講座」についてです。「ながおかの子ども 100 冊よもよもブックス」の選定委員会の委員長をお願いしていました錦先生から、現在は新潟大学のゲスト講師をされていますが、親子で一緒に本を読む時間の大切さについてお話していただきます。定員 80 人で、一昨日からの申し込みを開始していますが、昨日現在で 21 人の申し込みがあります。次に「文化講座「秋の図書館 沖縄の三線でちむどんどん」」です。連続テレビ小説で店の看板メニューのソーキそばが完成し、主人公のお店が再開したところですが、話題の沖縄文化について、三線とピアノの演奏を交えながら分かりやすくお話していただきます。講師は、燕三条FMで番組がある、三条市公認三線愛好家のきよ里さんです。定員 80 人で、こちらは一昨日からの申し込みを開始して、昨日現在で 14 人の申し込みがあります。「文化講座「杉本鉞子『武士の娘』(新訳)を読む一海を渡った女性たち」」ですが、長岡高専の堀口真利子准教授からお話いただきます。2016 年に出版された新訳版をもとに、杉本鉞子の生き方や考え方についてわかりやすく解説いただきます。

(小熊教育部副参事) ネイチャートーク「大河津分水河口周辺海浜域のスナガニの分布の特徴」では、継続して生きものの生態や不思議を紹介していくリレー講演会です。今回のトークテーマは「大河津分水河口にらすスナガニの分布状況」大河津分水通水 100 周年記念事業とタイアップして開催します。次に、特別展「藤橋遺跡と縄文晩期の土器文化」は、9 月 23 日から 11 月 6 日まで開催します。馬高遺跡の南西に位置する藤橋遺跡は、新潟県を代表とする縄文時代晩期の大集落です。本展示では史跡公園「藤橋歴史の広場」として整備され 30 周年を迎える藤橋遺跡と信濃川流域の縄文晩期の土器文化を紹介します。10 月 16 日(日)には関連講座を開催する予定です。

(深澤子ども・子育て課長) ファミリー・サポート・センター 20 周年記念講演会事業です。「子育ては日々 65 点」というタイトルで、ちやい文々さんから講演いただく予定です。日時は 10 月 11 日(火)にさいわいプラザの中央公民館の講座室で開催します。当日は 10 名までの預り保育をいたします。

(金澤教育長) 何か、御質疑等ありますか。

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会いたします。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員